

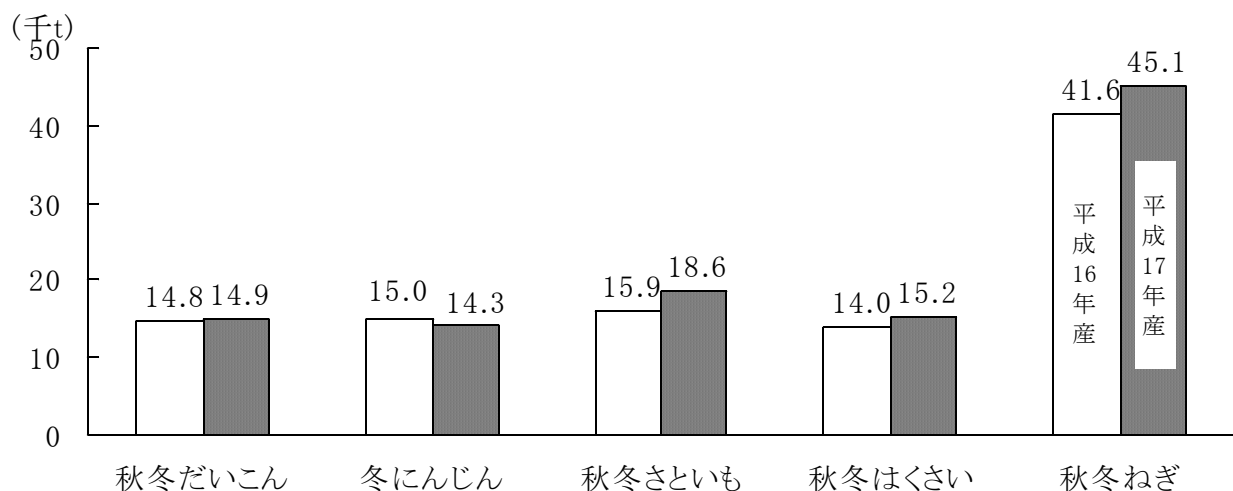
平成17年産秋冬野菜等の作付面積、 収穫量及び出荷量 (埼玉県)

～秋冬さといもの収穫量は前年産に比べ17%増加～

【調査結果の概要】

- 1 平成17年産の秋冬野菜の作付面積は、前年産並みないし減少傾向となった。
- 2 10a当たり収量は冬キャベツ、冬レタスはやや低下したものの、その他の品目は天候に恵まれ作柄が良かったことから、前年産に比べ上昇した。
- 3 収穫量及び出荷量は、秋冬だいこん、秋冬さといも、秋冬はくさい及び秋冬ねぎは10a当たり収量の上昇から増加したものの、冬にんじんは作付面積の減少から、冬キャベツ、冬レタスは10a当たり収量の低下から減少した。
特に、秋冬さといもの収穫量は大幅に増加した。

図 主な秋冬野菜の収穫量



この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/0608syutoyasai_s/syutoyasai_s.xls】

この統計調査における調査の目的、調査の対象などは、【調査の仕様】P4に掲載しています。

【解 説】

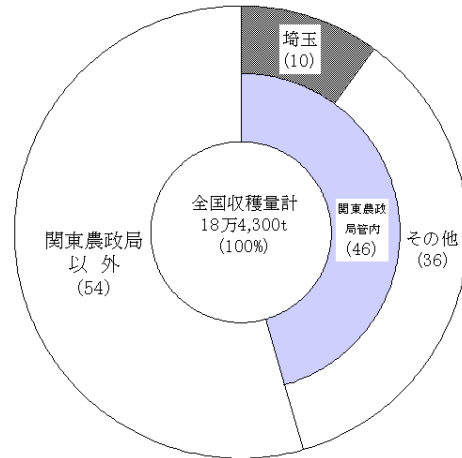
1 秋冬さといも

平成17年産秋冬さといもの収穫量は1万8,600tで、前年産に比べて2,700t(17%)増加した。これは、天候に恵まれ、10a当たり収量が上昇したためである。

埼玉県が全国に占める割合は10%で、全国第2位となっている。

(詳細は、統計表P3参照)

図1 秋冬さといもの収穫量割合



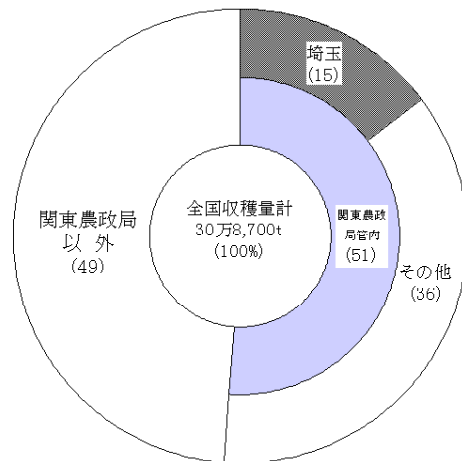
2 秋冬ねぎ

平成17年産秋冬ねぎの収穫量は4万5,100tで、前年産に比べて3,500t(8%)増加した。これは、天候に恵まれ、10a当たり収量が上昇したためである。

埼玉県が全国に占める割合は15%で、全国第1位となっている。

(詳細は、統計表P3参照)

図2 秋冬ねぎの収穫量割合



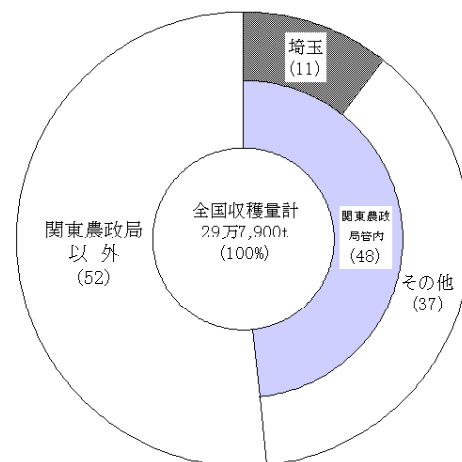
3 ほうれんそう

平成17年産ほうれんそうの収穫量は3万1,300tで、前年産並みとなった。

埼玉県が全国に占める割合は11%で、全国第2位となっている。

(詳細は、統計表P3参照)

図3 ほうれんそうの収穫量割合



【統計表】

平成17年産 秋冬野菜等の作付面積、収穫量及び出荷量

品 目	作付面積	10a当たり 収 量	収穫量	出荷量	前 年 産 対 比 (%)				(参考) 平均収量 対 比 %
					作付 面積	10a当たり 収 量	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t					
指 定 野 菜									
秋 冬 野 菜									
秋 冬 だ い こ ん	372	4 010	14 900	9 200	96	104	101	102	109
冬 に ん じ ん	367	3 910	14 300	11 800	90	106	95	95	115
秋 冬 さ と い も	782	2 370	18 600	13 000	96	122	117	111	135
秋 冬 は く さ い	341	4 450	15 200	8 540	100	109	109	112	108
冬 キ ャ ベ ツ	170	3 680	6 250	4 610	100	96	96	93	100
冬 レ タ ス	87	2 490	2 180	1 910	98	94	92	94	93
秋 冬 ね ぎ	1 640	2 750	45 100	36 200	97	112	108	108	119
そ の 他									
ほ う れ ん そ う	2 230	1 400	31 300	25 400	98	103	101	100	99
指 定 野 菜 に 準 ず る 野 菜									
カ リ フ ラ ワ ー	37	1 900	712	574	93	96	90	90	95
ブ ロ ッ コ リ ー	1 090	1 090	11 900	10 700	98	87	85	86	87

注：(参考)平均収量対比とは、10a当たり平均収量(原則として過去7か年のうち最高、最低を除いた5か年の平均値)と当年産の10a当たり収量との対比である

【関連データ】

平成17年産秋冬野菜等の収穫量全国順位(上位5都道府県まで)

品 目	作付面積	10a当たり 収 量	収穫量	出荷量
秋 冬 さ と い も				
順位 全国・都道府県	14 900	1 240	184 300	108 400
1 千 葉	2 160	1 330	28 800	21 300
2 埼 玉	782	2 370	18 600	13 000
3 宮 崎	1 120	1 630	18 200	14 500
4 鹿 児 島	850	1 230	10 500	7 830
5 栃 木	644	1 440	9 260	5 850
秋 冬 ね ぎ				
順位 全国・都道府県	14 600	2 110	308 700	223 600
1 埼 玉	1 640	2 750	45 100	36 200
2 千 葉	1 590	2 410	38 400	33 700
3 群 馬	861	2 140	18 400	13 100
4 茨 城	830	2 140	17 800	12 500
5 北 海 道	384	3 530	13 600	12 100
ほ う れ ん そ う				
順位 全国・都道府県	23 700	1 260	297 900	239 200
1 千 葉	2 290	1 610	36 900	32 900
2 埼 玉	2 230	1 400	31 300	25 400
3 群 馬	2 100	1 160	24 400	20 000
4 茨 城	1 220	1 380	16 800	13 200
5 岐 阜	1 220	1 030	12 600	11 100

注：本年産は主産県を対象に調査を実施しており、全国値については主産県の調査結果を基に推計したものである

【調査の仕様】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査・野菜調査として実施したものであり、野菜の作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量の現状とその動向を調査して、生産対策、需給調整・流通改善対策等に関する資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査対象県（主産県）は、当該品目ごとに全国出荷量のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県、畑作物共済事業を実施する都道府県及び特定野菜等供給産地育成価格差補給事業の実施している都道府県を主産県として調査している。

埼玉県における調査対象品目は、秋冬だいこん、冬にんじん、秋冬さといも、秋冬はくさい、冬キャベツ、冬レタス、秋冬ねぎ、ほうれんそう、カリフラワー及びブロッコリーとなっている。

(2) 「指定野菜に準ずる野菜」とは、野菜生産出荷安定法施行令及び同施行規則で定める品目のうち25品目であり、今回は、このうち主たる収穫・出荷期間が17年4月から18年3月までの2品目を取りまとめた。

3 調査客体数

品目	集出荷団体等 客体	作況基準筆 筆	巡回・見積もり 市町村
(指定野菜)			
 秋冬野菜			
秋冬だいこん	17	2	71
冬にんじん	18	4	69
秋冬さといも	18	7	71
秋冬はくさい	19	1	71
冬キャベツ	15	1	65
冬レタス	18	1	48
秋冬ねぎ	33	4	71
 その他			
ほうれんそう	36	10	72
(指定野菜に準ずる野菜)			
カリフラワー	9	-	33
ブロッコリー	28	1	67

4 調査期間

この調査の年産区分の主たる収穫・出荷期間は次のとおりである。

品 目	主たる収穫・出荷期間
(指定野菜)	
秋冬野菜	
秋冬だいこん	平成17年 10月 ～ 18年 3月
冬にんじん	17年 11月 ～ 18年 3月
秋冬さといも	17年 6月 ～ 18年 3月
秋冬はくさい	17年 10月 ～ 18年 3月
冬キャベツ	17年 11月 ～ 18年 3月
冬レタス	17年 11月 ～ 18年 3月
秋冬ねぎ	17年 10月 ～ 18年 3月
その他	
ほうれんそう	17年 4月 ～ 18年 3月
(指定野菜に準ずる野菜)	
カリフラワー	} 17年 4月 ～ 18年 3月
ブロッコリー	

5 調査方法

調査員による集出荷団体等に対する面接調査、統計・情報センター職員による作況基準筆調査及び作況基準筆調査結果に基づく巡回・見積りによる。

6 集計方法

埼玉県内の各市町村の結果を積み上げ集計している。

7 目標（実績）精度

本調査においては、目標精度は設定していない。

8 用語の解説

- (1) 作付面積とは、は種又は植付けし、発芽又は定着した面積をいう。
また、温室・ハウスなど施設に作付けされている場合は、栽培に直接必要な土地を含めた面積とした。
- (2) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用、加工用として流通する基準を満たすものの重量をいい、出荷量とは、収穫量から生産者の自家消費、生産物を贈与した量、収穫後の減耗等を差し引いた重量をいう。
なお、野菜需給均衡総合推進対策事業による産地廃棄や県等が独自に実施した需給調整事業により産地廃棄された量は、収穫量に含めるが出荷量には含めない。

9 統計表の見方等

統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数	6けた	5けた	4けた	3けた以下	
	(10万)	(万)	(1 000)	(100)	
四捨五入するけた数 (下から)	2けた		1けた	四捨五入しない	
例	四捨五入する前 (原数)	123 456	12 345	1 234	123
	四捨五入した数値 (統計数値)	123 500	12 300	1 230	123

10 関東農政局管内

解説に用いた図 (2 ページ) における「関東農政局管内」とは、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県及び静岡県 の10都県である。

11 その他

この資料の数値は概数であり、確定値は追って刊行する『平成17年関東の園芸』に掲載する。

○ この統計調査結果は、関東農政局ホームページ中の統計データに掲載しています。

アドレス【<http://www.kanto.maff.go.jp/toukei/2006data/2006data.html>】

又は、関東農政局トップページ▶統計データ▶平成18年度

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

連絡先：関東農政局 統計部 生産流通消費統計課
生産統計第3係

電 話：(代表) 048 (600) 0600 内線3634
(直通) 048 (740) 0591

担当者：今井、宮崎

◎農林水産統計全般について

連絡先：関東農政局 統計部 統計企画課 企画第2係

電 話：(代表) 048 (600) 0600 内線3613
(直通) 048 (740) 0575